

本の紹介

『団地と共生－芝園団地自治会事務局長 二〇〇〇日の記録』

著者：岡崎広樹（芝園団地自治会事務局長）
（平成27年度あしたのまち・くらしづくり
活動賞 総務大臣賞）

「見知らぬ隣人」が増えていく昨今。その時代に
適した自治会運営や、地元外部からの関わり方の
ヒントになる一冊です。

芝園団地がある埼玉県川口市芝園町の人口は
4,600人。その内、外国人住人が2,600人（人口
の55%）。また、高齢者の日本人と若者の外国人
で構成される、さながら「将来の日本の縮図」とい
える地域です。

芝園団地では、「迷惑な隣人」が増えやすく、「見知らぬ隣人」になりやすい。これらの課題に
対して、著者は自治会役員となり、地域活動に地元外部の力を活かす「開かれた自治会構想」を
推進。その結果、2022年度には自治会役員9名の内、外国出身者が4名に。約10年にわたる取
り組みのエピソードは、時代の変化に合わせた自治会運営のヒントになる。そう自負しています。

ご自身の地域に外国人住民が少なければ、芝園団地の出来事は対岸の火事に思えるかもしれ
ません。しかし、上述の課題は日本各地の隣近所で起きています。つまり、芝園団地の「実
像」は、「見知らぬ隣人」が増えていく難しさ、という現代社会の普遍的な課題を表している。
決して、対岸の火事とは言えないのです。また、地元外部の力を活かす地域づくりの試行錯誤
は、行政職員やNPO等の地域活動団体の参考にもなります。

一住民として暮らす著者が、外部からの取材等では得られない視点で、約10年の活動を綴っ
たオリジナルな一冊。多文化・多世代の自治会運営、新しい住民との関係づくりや地元外部の
力を活かす地域づくりのヒントを得たい方に、特にお勧めです。

■本の購入方法

『団地と共生－芝園団地自治会事務局長 二〇〇〇日の記録』（刊行：論創社）

- ・各地の書店での購入、注文
- ・Amazonなどのオンライン書店での注文



本体価格 1,800円(+税)